

**2013年3月期 第2四半期累計期間 決算 及び
「2014中期経営計画」の改訂について 説明会質疑応答**

日時 : 2012年11月19日 15:30~17:00
場所 : 東京秋葉原UDX 4F UDXギャラリー NEXT-1
説明者 : 代表取締役社長 尾上 広和
広報・IR部長 犬賀 昌人

Q1)タリス社ののれん代償却を17年から19年に変えた背景は？

A1)第1四半期の決算発表時には、タリス社買収の影響を織り込んだ業績予想数値を算出するために、のれん代の償却期間を17年に仮設定いましたが、今回、タリス社の将来の業績見通しを基にのれん代の回収可能期間を検証したうえで、19年に確定いたしました。

Q2)中国の景気減速や日本製品不買運動の影響は？また、東南アジアのグローリーの市場動向は？

A2)中国の売上は毎年期末に集中する傾向があります。今期もこれまで通り期末にかけて設備投資予算が執行されるものと予想しており、景気減速の影響は出ておりません。不買運動につきましても、今のところ当社の主要製品への影響はほとんど出ておりません。

また、東南アジアでは、インドネシアで紙幣流通量の拡大と共に製品需要が高まっており、タイ、フィリピン等でも営業案件が増加しています。

Q3)ユーロ改刷の影響は？

A3)欧州中央銀行では、2013年5月から毎年1金種ずつユーロ新紙幣を発行すると発表しています。業績への影響は今後検証してまいります。

【お問い合わせ先】

グローリー株式会社 広報・IR部 IRグループ(本社) 電話 079-294-6317